

復活祭 2018

ペトロとヨハネが空の墓に向かって走り、それから蘇って彼らの間で生きている「彼」を見た日から、すべては変わることができる。その時から永遠に、人は変わることができ、生きることができ、生き返ることができる。ナザレのイエスの存在は、不思議だが確かに、内側からわたしたちの不毛に活気を取り戻させ、不可能なことを可能にするリンパ液のようだ。わたしたちにとっては不可能なことも、神にとっては可能である。このように、ほのかに示された新しい人間性は、素直な心と目の持ち主には、存在する「彼」を認める仲間を通して見るのが可能になる。わたしたちとともにおられる神。ほのかに示された人間性、新しさ、それはまるで冬枯れの自然を蘇らせるかのようだ。

ルイジ・ジュッサーニ

コムニオーネ・エ・リベラツィオーネ

Eugène Burnand, 復活の朝 墓に向かって走る使徒ペトロとヨハネ,
1898. パリ, オルセー美術館. (© Erich Lessing/Contrasto)

